
赤潮情報(定期赤潮調査結果)

鹿児島県水産技術開発センター
 平成25年5月8日

鹿児島湾 赤潮情報 No.3

[1] 5月7日の調査結果

(1) 赤潮生物の出現状況

調査全域で、有害種による着色域は確認されませんでした。
 有害種については、濃縮検鏡(100倍)を実施したところ、2ヶ所でシャットネラ マリーナを0.01~0.02cells/ml確認しました。また通常検鏡でセラチム属を1~9cells/ml確認しました。アロツグマ アカバは確認されませんでした。珪藻類は全体的にやや少ない状況でした。

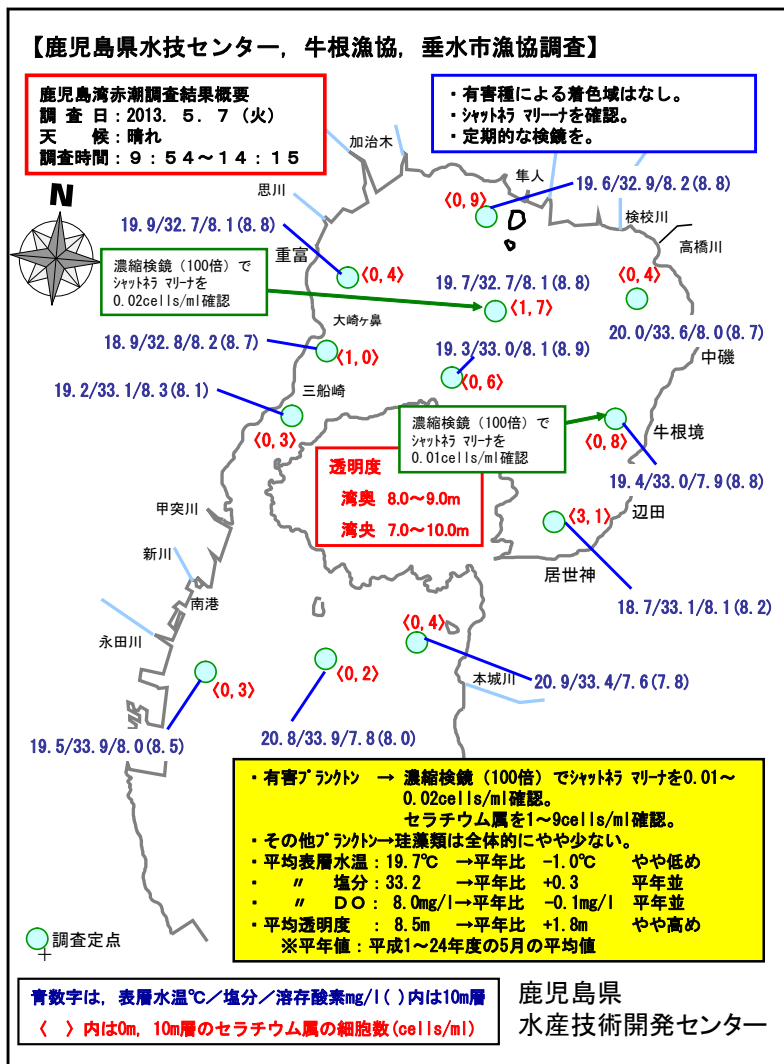
(2) 海況

表層水温は湾央部で19.5~20.9℃、湾奥部で18.7~20.0℃と平年同時期よりやや低く、塩分は32.7~33.9と平年同時期並み、透明度は7.0~10.0mで平年同時期よりもやや高くなっています。

| | | | | | |
|--------|-------|-----|-------|-----|-------|
| 水温：平均 | 19.7℃ | 湾奥部 | 19.4℃ | 湾央部 | 20.4℃ |
| 塩分：平均 | 33.2 | 湾奥部 | 33.0 | 湾央部 | 33.7 |
| 透明度：平均 | 8.5m | 湾奥部 | 8.3m | 湾央部 | 9.0m |

(平年値は平成1~24年の5月の平均値)

[2] 今後の赤潮発生の予想



鹿児島湾は、水温の上昇に伴い、プランクトンの増殖が活発になる赤潮シーズンに入っています。7日の調査では、着色域は確認されませんでした。有害種のうちシャットネラ マリーナ(0.01~0.02cells/ml)とセラチム属が少数確認されました。

珪藻類は全体的にやや少ない状況であり、今後の状況変化によっては、有害種が増殖する可能性もあるので、各漁協・養殖業者におかれましては、定期的に漁場周辺の採水・検鏡を行い、有害プランクトンの有無など漁場環境の把握に努めて下さい。

(次回調査は5月下旬を予定)

赤潮情報(携帯用)：<http://kagos-hima.suigi.jp/akashio/i/index.shtm>

赤潮情報(パソコン用)：<http://kagos-hima.suigi.jp/akashio/newHP/index.html>